



教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761
 Email: sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP: <https://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp>

主体的に判断し、自分自身の成長を実感して

校長 篠崎 玲子

これまでに経験したことのない猛暑であった夏が過ぎ、木々の葉が秋らしい色合いとなり、一日の寒暖差も増し、秋を感じるようになってきました。

さて、10月は、学校公開や地域連携防災訓練、ゲストティーチャーによる出前授業、様々な校外学習、そして、「白祭」……と多くの取組がありました。どの取組においても児童・生徒は目を輝かせながら参加している様子が印象的でした。

その中で、小中一貫教育校ならではの特色を生かし実施した「地域連携防災訓練」と「白祭」の2つの取組について、話題に取りあげます。

「地域連携防災訓練」では、小学生と中学生が発達段階を考慮してペアとなり、「AED訓練」「マンホールトイレの設置」「テント設置」「毛布担架訓練」「ロープ結束訓練」などに挑戦しました。災害時に自分たちが主体的に動き、自分を守ることはもとより、地域の人たちとともに、有事を乗り越える力の醸成につながる大変意味のある活動であったと思っています。

もう一つの「白祭」では、企画・運営の全てを生徒が担いました。こうした行事において、どうしても、教員による支援が多く入ってしまうことがあるのですが、本学園においては違います。本当に生徒が主体で実施され、教員は見守りに徹しているということが、生徒の主体性を促し、一人ひとりの活躍につながったと感じ、私の掲げる学校経営方針の一つである「児童・生徒一人ひとりが活躍できる学園」に通ずるものもあります。

そのような「白祭」の中で、「白金の丘学園の児童・生徒らしいな。」と思える微笑ましい出来事がありました。6年生が特別出演し、「ソーラン節」を披露したのですが、なんと音響が途中で途切れてしまうというハプニングがありました。そのような時、皆さんなら、どのような行動に出ますか？

6年生は、音響がなくても何事もなかったように力強い踊りを続けてくれました。すると、どこからともなく、その様子を見ていた中学生が「どっこいしょー。どっこいしょー。」「ソーラン。ソーラン。」と歌いだしたのです。そして、あっという間に会場は、中学生の歌声で埋め尽くされました。そして、それに応えた6年生がさらに磨きをかけた踊りを披露するという形で最後まで、演技が進みました。

これは、誰かに指示をされたから行動したものではなく、状況を鑑みて、自分で判断し、とるべき行動にうつしたものです。私は、その姿に大きな感動を覚えました。

今月末には、「開校十周年記念式典」があります。一人ひとりが活躍できる機会となるよう、学園として努めてまいります。



10月10日 地域連携防災訓練(7年)



10月10日 地域連携防災訓練(8年)



10月25日 白祭(9年1組)



10月25日 白祭(9年2組)